

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2006-85000 (P2006-85000A)

【公開日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【年通号数】公開・登録公報 2006-013

【出願番号】特願 2004-271784 (P2004-271784)

【国際特許分類】

**G 0 2 B 7/28 (2006.01)**

**G 0 3 B 15/05 (2006.01)**

**G 0 3 B 13/36 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 B 7/11 N

G 0 3 B 15/05

G 0 3 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 24 日 (2007.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の色の光を発する第 1 の発光体および前記第 1 の色と異なる第 2 の色の光を発する第 2 の発光体と、

前記第 1 の発光体および第 2 の発光体をそれぞれ発光 / 消灯させる発光制御手段と、

撮影時に前記第 1 の発光体および前記第 2 の発光体とともに発光させるとともに、測距時に前記第 1 の発光体のみを発光させるように前記発光制御手段に指示する色制御手段とを備え、

前記第 1 の色は測距センサの受光感度が高い色であることを特徴とする撮影用照明装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の撮影用照明装置において、

前記第 1 の色は R 色成分を含むことを特徴とする撮影用照明装置。

【請求項 3】

第 1 の色の光を発する第 1 の発光体および前記第 1 の色と異なる第 2 の色の光を発する第 2 の発光体と、

前記第 1 の発光体および第 2 の発光体をそれぞれ発光 / 消灯させる発光制御手段と、

撮影時に前記第 1 の発光体および前記第 2 の発光体とともに発光させるとともに、赤目軽減用の予備発光時に前記第 2 の発光体のみを発光させるように前記発光制御手段に指示する色制御手段とを備え、

前記第 2 の色は人の桿体細胞において受光感度が高い色であることを特徴とする撮影用照明装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の撮影用照明装置において、

前記第 2 の色は G 色成分を含むことを特徴とする撮影用照明装置。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の撮影用照明装置を備えることを特徴とするカメラ

。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

(1) 請求項 1 に記載の発明による撮影用照明装置は、第 1 の色の光を発する第 1 の発光体および第 1 の色と異なる第 2 の色の光を発する第 2 の発光体と、第 1 の発光体および第 2 の発光体をそれぞれ発光 / 消灯させる発光制御手段と、撮影時に第 1 の発光体および第 2 の発光体とともに発光させるとともに、測距時に第 1 の発光体のみを発光させるように発光制御手段に指示する色制御手段とを備え、第 1 の色は測距センサの受光感度が高い色であることを特徴とする。

(2) 請求項 1 に記載の撮影用照明装置において、第 1 の色は R 色成分を含んでもよい。

(3) 請求項 3 に記載の発明による撮影用照明装置は、第 1 の色の光を発する第 1 の発光体および第 1 の色と異なる第 2 の色の光を発する第 2 の発光体と、第 1 の発光体および第 2 の発光体をそれぞれ発光 / 消灯させる発光制御手段と、撮影時に第 1 の発光体および第 2 の発光体とともに発光させるとともに、赤目軽減用の予備発光時に第 2 の発光体のみを発光させるように発光制御手段に指示する色制御手段とを備え、第 2 の色は人の桿体細胞において受光感度が高い色であることを特徴とする。

(4) 請求項 3 に記載の撮影用照明装置において、第 2 の色は G 色成分を含んでもよい。

(5) 請求項 5 に記載の発明によるカメラは、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の撮影用照明装置を備えることを特徴とする。